

静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会

(令和4年度 第5回)

次 第

日 時 令和5年2月7日(火) 午前10時30分から
場 所 レイアアップ御幸町ビル 6D会議室

1 開 会

2 第4回(書面会議)の振り返り

- | | |
|------------------|------------|
| (1) 第4回検討会の意見と対応 | 資料-1 |
| (2) パブリックコメント資料 | 参考資料-1、2、3 |

3 報 告

- | | |
|----------------------|------|
| (1) パブリックコメントの報告について | 資料-2 |
|----------------------|------|

4 議 題

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 最有力候補地の選定について | 資料-3 |
|-------------------|------|

5 そ の 他

6 閉 会

静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会

※敬称略、50音順

所属、役職等	氏 名	備 考
常葉大学 社会環境学部 環境学科 教授	池田 浩敬	副会長
静岡商工会議所 専務理事	石川 眞巳	
静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科 教授	内海 佐和子	
市民委員	風岡 範哉	
株式会社日本政策投資銀行 地域調査部 課長	桂田 隆行	
大阪成蹊大学 経営学部 スポーツマネジメント学科 准教授	菅 文彦	
常葉大学 教育学部 生涯学習学科 教授	木宮 敬信	会長
九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授	黒瀬 武史	
市民委員	佐潟 昌邦	
公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ） 経営基盤本部 クラブライセンス事務局 スタジアム推進役	佐藤 仁司	
静岡市サッカー協会 副会長	高田 雅司	
市民委員	竹上 勝司	
静岡市サッカー協会 会長	牧田 博之	
株式会社エスパルス 代表取締役社長	山室 晋也	

第5回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会 座席表

日時：令和5年2月7日（火）
10：30～

場所：レイアアップ御幸町ビル 6D会議室

木宮 敬信 会長



池田 浩敬 副会長



石川 眞巳 委員



内海 佐和子 委員



風岡 範哉 委員



菅 文彦 委員



山室 晋也 委員



牧田 博之 委員



竹上 勝司 委員



高田 雅司 委員



佐藤 仁司 委員



佐潟 昌邦 委員



事務局席	オブザーバー (静岡県)
------	-----------------

司会進行

企画課
渡邊

企画課
久野井補佐

企画課
鈴木課長

松浦
企画局長

経営管理部
池ヶ谷理事

建設政策課
北堀課長

港湾企画課
北川課長

--	--	--

企画課
乗松

山田
企画局
次長

スポーツ
振興課
谷川課長

スポーツ
振興課

スポーツ
交流課
長澤課長

スポーツ
交流課

--	--	--

調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

第4回検討委員会(書面開催)の委員からの意見と対応

第4回検討委員会において、「最有力候補地の選定(案)」及び「パブリックコメント資料」について、下記のとおり委員から意見をいただいた。

1. 検討委員会の候補地評価のまとめについて】

- ・委員から修正の意見なし

2. パブリックコメント資料について

委員	内容	対応
木宮会長	【パブリックコメント：チラシ、資料の追加】 市民の方はスタジアム整備にどれくらいの費用や期間を要するのか。また、どのような手法があるのかわからないので、第1回目の参考資料(他のスタジアム整備事例)を追加しておいた方がいいのではないか。 整備財源や整備主体は今後の検討であることがわかるようにしておいた方がいいのではないか。	参考資料を追加する。 財源や主体について、チラシに追記する。
桂田委員	【パブリックコメント：意見応募用紙】 各候補地にはメリットもデメリットがあるので、どちらか一方だけに注目がいかないようにすることは必要である。	候補地の説明の文言を検討する。
佐潟委員	【パブリックコメント：チラシ】 チラシの現IAIスタジアム日本平の「交通アクセスに課題がある」という点について、具体的に何に問題があるのかを明示した方がわかりやすいのではないか。	公共交通アクセスに課題があることを記載する。
佐藤委員	【パブリックコメント：意見応募用紙】 候補地に関する設問については質問内容や質問の順番に気を使い、回答しやすいようにしておいた方が良くはないか。	質問の表記や方法を検討する。
竹上委員	【パブリックコメント：意見応募用紙】 年配の方もいるので紙の応募用紙の回答欄を大きくしておいた方が良くないか。	記入スペースを調整する。

署名(会長) 木宮 敬信

募集期間

令和4(2022)年

12月6日(火)

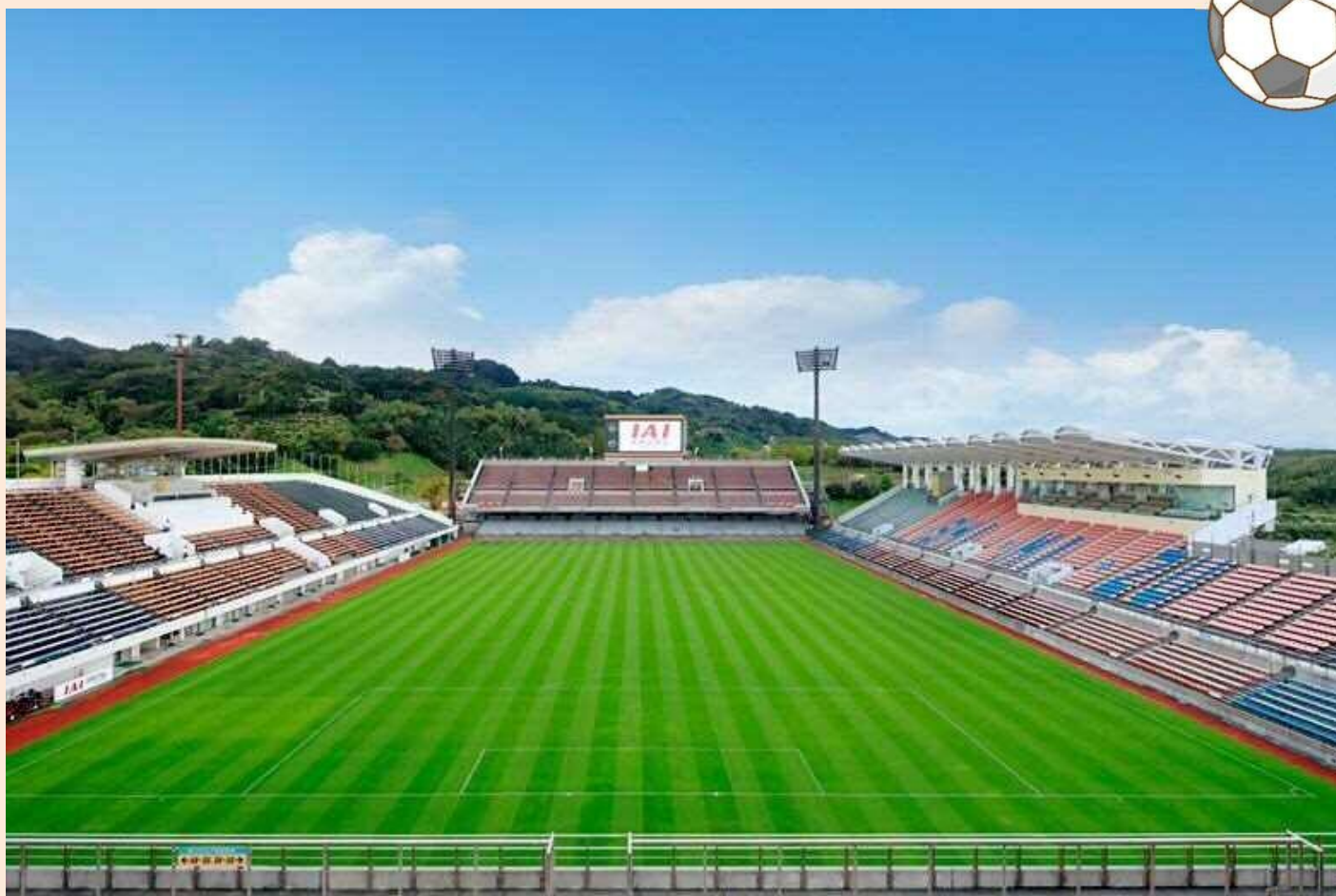
～

令和5(2023)年

1月5日(木)

新サッカースタジアムの 候補地の検討について

皆様のご意見を聞かせてください!!



現在のIAIスタジアム日本平は、Jリーグのスタジアム基準を一部満たしていないことや、アクセス性等に課題があるため、「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」を設置し、サッカースタジアムを活かしたまちづくりや新スタジアム整備の候補地について議論してきました。

新サッカースタジアムの候補地の検討にあたり、議論の参考とするため、市民の皆様からご意見を募集いたします。

新サッカースタジアムの検討について

1. 背景・経緯

現 I A I スタジアム日本平は、1991年に収容人数13,216人の日本平運動公園球技場として開場しました。のちに Jリーグの開幕に合わせ、20,299人収容のスタジアムに改築し、今も市民の皆さんに愛されています。

しかしながら、Jリーグのスタジアム基準を一部満たしていないことや、鉄道駅から距離があると同時に試合開催時に渋滞が発生するなど、アクセス面での課題もあります。

そこで、「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」を設置し、まずは、新スタジアムの候補地について議論を進めています。また、整備主体、整備手法、財源についても、来年度以降検討していきます。

2. 現スタジアムの施設概要

【位置】 清水区 村松 3880-1 【面積】 約2.3ha (スタジアム敷地)

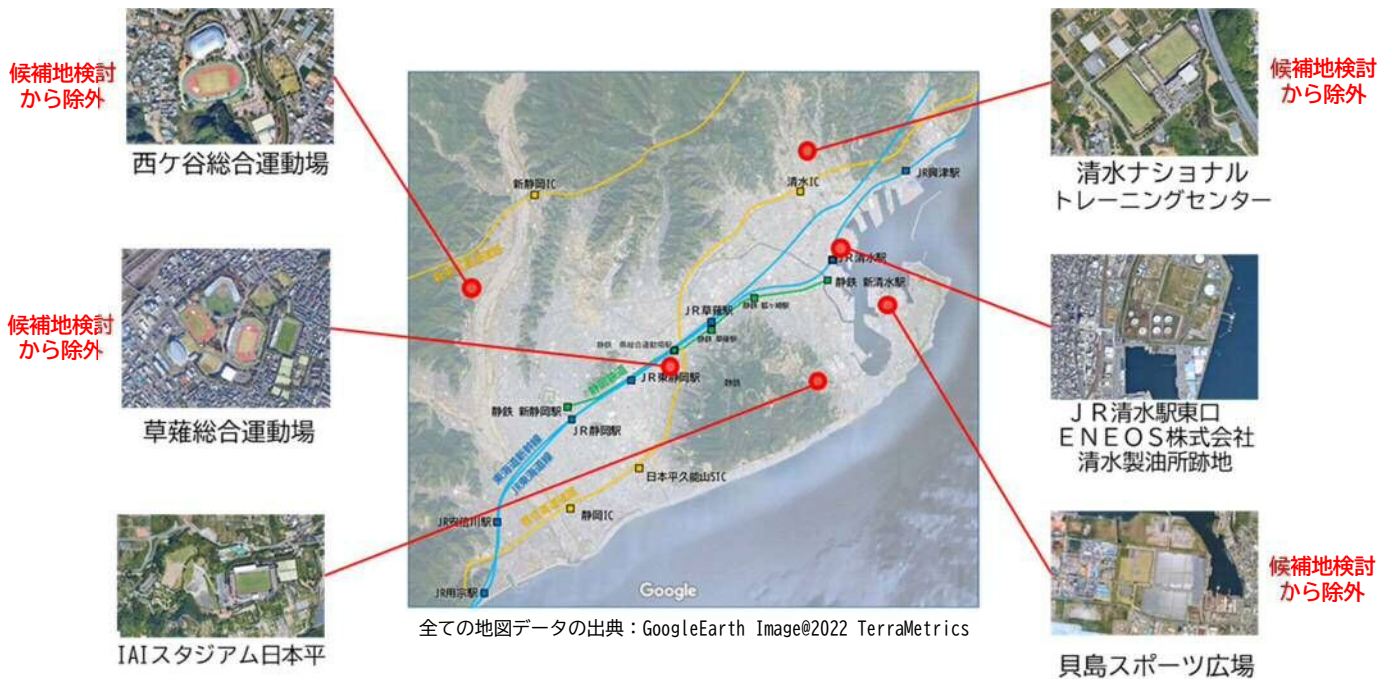
【管理運営】 静岡スポーツスクエア共同事業体

【課題】 ・ Jリーグスタジアム基準の「観客席の屋根のカバー率」が不足している。
・ 交通アクセスに課題がある。 など

〔※Jリーグの基準で、既設のスタジアムは1/3、新設・大規模改修する場合は全ての観客席を覆う事とされている。〕

3. 候補地検討の経過 (令和4年度 サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会での検討)

サンガススタジアム by KYOCERAを参考に3.5haの遊休地や運動公園等を抽出したのち、協議や調整に多大な時間を要すると見込まれる土地を除外し、候補地の比較検討を行いました。



(1) 3.5ha以上の遊休地及び運動公園等の基準に基づき、6か所の土地を抽出

- ・ 西ヶ谷総合運動場
- ・ 草薙総合運動場
- ・ 現スタジアムの改修(IAIスタジアム日本平)
- ・ 清水ナショナルトレーニングセンター
- ・ JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地
- ・ 貝島スポーツ広場

(2) 協議や調整に多大な時間を要すると見込まれる土地の除外

建ぺい率の問題や代替機能を確保する必要があることから、協議や調整に多大な時間を要すると見込まれるため、**草薙総合運動場、西ヶ谷総合運動場、清水ナショナルトレーニングセンター**を候補地から除外しました。(※詳細は概要資料をご確認ください。)

(3) 検討委員会での議論で「貝島スポーツ広場」を除外


貝島スポーツ広場については、まちづくりやアクセス面などの課題に加え、津波、土壌汚染への対応、騒音、渋滞への対策、地権者との調整などの課題が存在するため候補地から除外されました。

新サッカースタジアムの検討について


4. 候補地の比較・検討

第3回の検討委員会で、選出された2つの候補地について、3つの視点から評価し、最有力候補地の選出（案）が示されました。

J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地

概要	候補地の概要及び留意点	
 <p>面積：約20haの一部 所有者：ENEOS(株)</p>	土地の特性	民間所有の土地であるため、使用にあたっては協議が必要であり、使用していないタンクを撤去する必要がある。また、土地利用規制の変更やLNG基地からの保安距離確保の必要性、土壌汚染の可能性、津波や液状化の対策に費用を要する。
	まちづくり	周辺に清水中心市街地や商業施設が存在することから、まちの活性化が期待される。また、敷地はスタジアム以上の面積があるため、敷地内での開発の可能性がある。マンションや建設予定の病院があるため、騒音や交通渋滞対策の検討を要する。
	交通アクセス	鉄道駅に近接していることから、公共交通でのアクセスが良い。一方で、試合終了後の混雑が予想されることから、対策に費用を要する。主要幹線道路や高速道路からのアクセスが良いが、鉄道が南北に運行していることによる東西交通に課題があり、周辺道路は港湾施設のための道路であるため交通負荷の軽減を図る必要がある。
	【その他】	・地権者であるENEOS株式会社が進める「次世代型エネルギープラットフォーム」の開発コンセプトに沿った開発計画の検討が必要となる。

現スタジアムの改修（IAIスタジアム日本平）

概要	候補地の概要及び留意点	
 <p>面積：約16ha (スタジアム敷地2.3ha) 所有者：静岡市</p>	土地の特性	市が所有している。津波や土砂災害などの災害リスクは低い。現スタジアムは造成し整備しているため、大規模改修には更なる土地の造成が必要となる可能性がある。
	まちづくり	商店街や大型商業施設から距離があり、周辺は住宅地であるため周辺の活性化への寄与は低い。住宅地に隣接しているため騒音や渋滞対策が必要である。
	交通アクセス	公共交通機関から距離があるなど、交通アクセス面には課題がある。現在は、Jリーグ開催時にシャトルバスの臨時運行を実施している。
	【その他】	・改修中のJリーグ等の試合の代替地について検討が必要となる。

全ての地図データの出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics

5. 最有力候補地の選定（案）

・「J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」

まちづくりやアクセス面で優れていることから、最有力候補地にふさわしいものの、津波や液状化対策などの多数の課題が存在するため、これらの解決にあたって、どのような対応が必要か、どの程度のコストを要するのか、などを検証する必要がある。

・「現スタジアムの改修（IAIスタジアム日本平）」

J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地の津波や液状化対策などの課題を解決することが難しい場合の対応として、どの程度のコストを要するのか、あわせて検証を行う必要がある。

ご意見・アイデアなど

お待ちしております!!

意見募集期間

令和4(2022)年12月6日(火)から令和5(2023)年1月5日(木)まで

閲覧(配布)場所

- (1)企画課(静岡庁舎新館9階)
- (2)各区の市政情報コーナー
(葵区/静岡庁舎新館1階 駿河区/駿河区役所3階
清水区/清水庁舎4階)
- (3)各生涯学習センター、生涯学習交流館及び図書館
- (4)静岡市ホームページ
(https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000291.html)



静岡市HP

意見提出方法

静岡市サッカースタジアム



郵送	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 企画課 あて
ファクシミリ	FAX番号 054-221-1295
持参	静岡市役所 静岡庁舎新館9階 企画課
電子申請	応募専用フォームからご提出ください。 (https://logoform.jp/form/79j2/184351)



電子申請フォーム

※ 対象となる「市民」とは、市内に居住し、通学し、又は通勤する個人及び市内において事業を行い、又は活動を行う個人又は法人その他の団体をいいます。



J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地
出典: Google Earth



IAIスタジアム日本平

～お問い合わせ先～

静岡市企画課政策企画・調整係 (電話: 054-221-1002 FAX: 054-221-1295)


* 住所 (法人の場合は所在地)		(必須)
* 氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)		(必須)
年齢	<input type="checkbox"/> 19歳以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> その他	

📝ご意見を提出される際の注意事項

- 1 *印のある欄は必ずご記入ください。(意見の提出に際して、「静岡市市民参画の推進に関する条例施行規則」第5条第4項において、個人の場合は住所及び氏名、法人その他の団体の場合は、名称、所在地及び代表者の氏名を明らかにすることとされています。ご協力をお願いいたします。)
- 2 個人情報については、厳正に管理を行い、「静岡市市民参画の推進に関する条例」に基づくパブリックコメントの目的以外では使用いたしません。
- 3 いただいたご意見は、「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」の参考とさせていただきます。また、個人が特定できないよう編集した上で、意見の要旨を市ホームページ等で公開させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 4 意見欄に「別紙のとおり」としていただき、別紙を添えて提出していただくことも可能です。
- 5 対象となる「市民」とは、市内に居住し、通学し、又は通勤する個人及び市内において事業を行い、又は活動を行う個人又は法人その他の団体をいいます。

📝ご意見の提出方法

期間内に、意見応募用紙を次のいずれかの方法でご提出ください。

1 郵送	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 静岡市役所 企画課 あて	
2 ファクシミリ	FAX 番号：054-221-1295	
3 持参	企画課（静岡庁舎新館9階）	
4 市HP (電子申請)	市ホームページにある応募専用フォームでご提出ください。 右の二次元コードからも提出できます。 (応募専用フォーム https://logoform.jp/form/79j2/184351) ※個人情報保護の観点から、電子メールでのご提出は受付できかねます。	 電子申請フォーム

📝意見応募用紙と詳しい資料の配架場所は次のとおりです

意見応募用紙の配架場所と、静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会での検討について(概要版)が閲覧できる場所は次のとおりです。

- (1)企画課（静岡庁舎新館9階）
- (2)各区の市政情報コーナー（葵区/静岡庁舎新館1階、駿河区/駿河区役所3階、清水区/清水庁舎4階）
- (3)生涯学習センター、生涯学習交流館、図書館
- (4)静岡市ホームページ（https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000291.html）

※右の二次元コードからホームページにリンクされます。



静岡市 HP

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

- 1 令和4年度の検討委員会の進め方について （1ページ）
- 2 土地の抽出・評価の基準について （2ページ）
- 3 候補地の比較検討 （3～5ページ）

【参考資料】

- ・市民アンケート、利用者等アンケート結果 （6ページ）
- ・他のスタジアム整備事例 （7ページ）
- ・国内のスタジアム事例の整備・管理運営スキーム （8ページ）

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

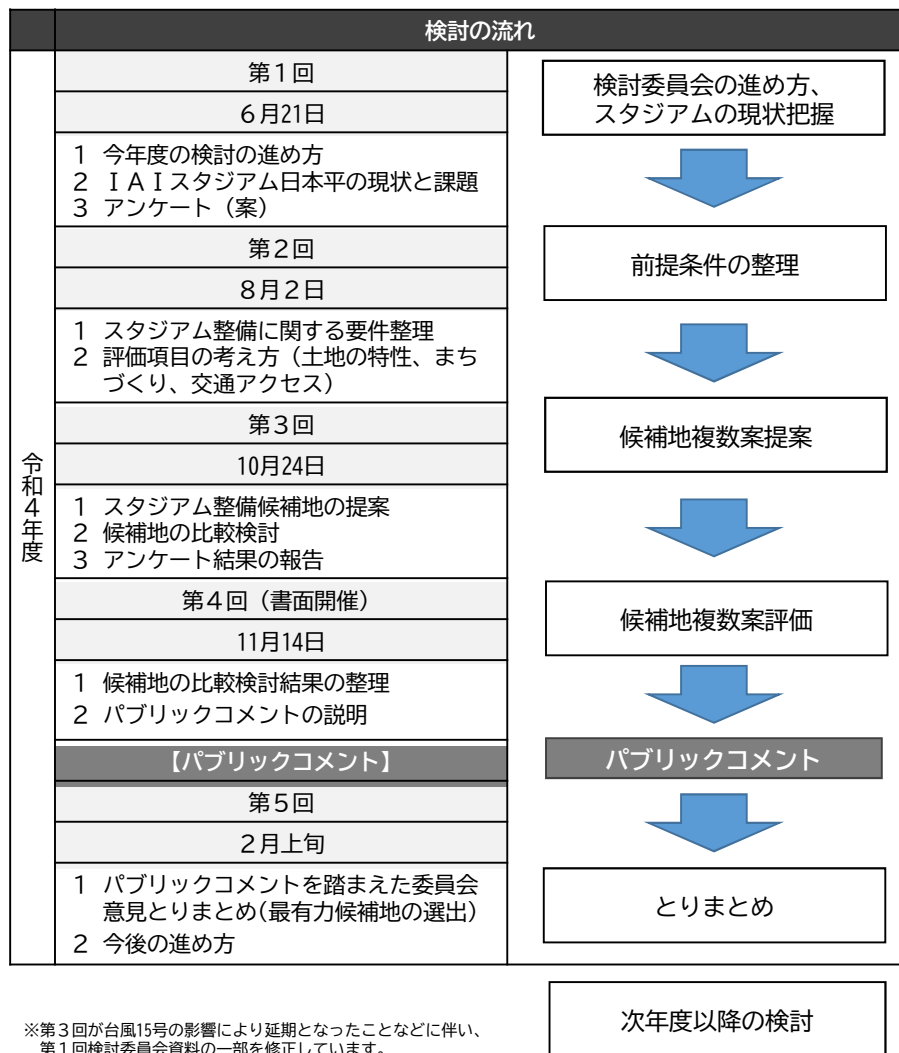
現 I A I スタジアム日本平は、1991年に収容人数13,216人の日本平運動公園球技場として開場しました。のちにJリーグの開幕に合わせ、20,299人収容のスタジアム改築し、今も市民の皆さんに愛されています。しかしながら、現在のJリーグのスタジアム基準を一部満たしていないことや、鉄道駅から距離があるとともにJリーグ開催時に渋滞が発生するなど、アクセス面での課題等があります。

そこで、「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」を設置し、まずは、新スタジアムの候補地について議論を進めています。また、整備主体、整備手法、財源についても、来年度以降検討していきます。

第1回 検討委員会

第1回の検討委員会では、まず令和4年度の議題やスケジュールといった、検討の進め方について議論しました。また、候補地の検討の参考とするため、市民や利用者等を対象としたアンケートを実施することを決定しました。

令和4年度の検討会の進め方



※第3回が台風15号の影響により延期となったことなどに伴い、第1回検討委員会資料の一部を修正しています。

I A I スタジアム日本平の現状と課題

1991年に全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のメイン会場として、13,216人収容のスタジアムが整備された。その後、1993年に開幕したJリーグに対応するため改修し、20,299人収容のスタジアムとして運営されている。

- 所有者 静岡市
- 管理運営 静岡スポーツスクエア共同事業体（（公財）静岡市まちづくり公社・㈱エスパルス）
- 所在地 静岡市清水区村松3880-1（下記の地図参照）
- 施設概要 開場年 1991年開業、収容人数 20,299席



Googleマップより引用 ©2022 Google



【I A I スタジアム日本平の課題】

I A I スタジアム日本平は、Jリーグのスタジアム基準で定められている「観客席の屋根のカバー率」が不足している。

また、スタジアム基準外ではあるが、交通アクセスや座席等の設備が経年劣化等の課題がある。

Jリーグスタジアム基準（2022年：屋根に関する事項を抜粋）

- ① 新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、原則として屋根はすべての観客席を覆うこと。
- ② すべての観客席を覆うこと（観客席の3分の1以上が覆われていること：Jリーグクラブライセンス交付規則 施設基準B等級） ※ I A I スタジアム日本平：屋根のカバー率26%

アンケート調査

（1）市民アンケート

調査対象：18歳以上の市民（無作為抽出、1,500名）
実施時期：令和4年8月10日～26日
内容：サッカーへの関心、観戦頻度、交通手段、スタジアムに期待すること 等

（2）利用者等アンケート

調査対象：サッカースタジアム利用者等（WEBアンケート）
実施時期：令和4年8月17日～31日
内容：観戦歴、交通手段、スタジアムに期待すること、現スタジアムの課題 等

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

【第2回 検討委員会】

第2回の検討委員会では、新サッカースタジアム整備候補地の選定にあたっての、土地の抽出基準や評価方法について議論し、「3.5 ha以上の遊休地及び運動公園など」を抽出し、アンケート調査の結果を参考に、3つの視点・11の項目で評価することとなりました。

立地検討にあたっての要件及び評価の進め方

1. 候補地の抽出

- 地図上で一定以上の面積を持つ公有地及び私有地を抽出

2. 候補地の評価（3つの視点による評価）

- (1) 土地の特性
- (2) まちづくり
- (3) 交通アクセス

3. アンケート調査

- 評価項目の検討にあたって市民や利用者のアンケート調査結果を活用する。

委員会や市民の意見を踏まえ候補地を評価

1. 土地の抽出

現在のIAIスタジアム日本平の収容人数2万人を基準に、サンガスタジアム by KYOCERA（収容人数21,600人）の敷地面積約3.3haを参考とし、静岡市内から以下の条件で抽出する。

ただし、山間部の市有林を大規模造成するなど現実的でない土地は除く。

- ・ 公有地及び私有地：3.5 ha以上の遊休地及び運動公園 など

図表 スタジアム規模（サンガスタジアム by KYOCERA）



2. 候補地の評価（3つの視点による評価）

「1 候補地の抽出」で定めた基準で抽出された土地を、土地の特性、まちづくり、交通アクセスの3つの視点・11の項目で評価し、最有力候補地を選定することとなりました。

視点	評価方法
1 土地の特性	① 保有状況 ■ 市有地か、又は国・県の公有地や企業・個人の民間の土地であるか
	② 土地の形状 ■ フィールドを南北方向に設置できるか(※スタジアム標準)
	③ 関係法令 ■ 当該土地に関する法令の位置付けはどうなっているか(都市計画法、建築基準法、港湾法、埋蔵文化財法など)
	④ 都市計画 ■ 都市マスタープランや立地適正化計画との関係性はどうか
	⑤ 災害リスク ■ 土砂災害(特別)警戒区、津波浸水想定区域、大雨や高潮による浸水想定区域であるか
2 まちづくり	① 周辺の活性化 ■ 中心市街地や大型商業施設や商店街等と近接しているか
	② 周辺開発の可能性 ■ スタジアムに必要な面積以外に活用できる余剰地があるか
	③ 周辺環境への影響 ■ 影響を与える住宅地や事業所等はあるか(騒音・振動・渋滞)
3 交通アクセス	① 公共交通でのアクセス ■ 静岡市内の主要最寄り駅から、候補地までの所要時間 ■ 候補地まで20分以内にアクセスできる人口(自動車、公共交通(電車)、徒歩)
	② 自家用車でのアクセス ■ 市内からアクセスしやすいか(主要幹線道路からのアクセス性) ■ 市外・県外からアクセスしやすいか(高速道路ICからのアクセス性)
	③ 周辺道路 ■ 周辺道路は整備されているか(自動車及び歩行者動線)
総合評価	

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

【第3回 検討委員会】

第3回の検討委員会では、基準に基づき抽出された土地について、項目ごとの評価や市民・利用者等アンケートの結果を踏まえ、候補地を比較検討し、検討委員会としての意見をまとめました。

候補地の選定のフロー



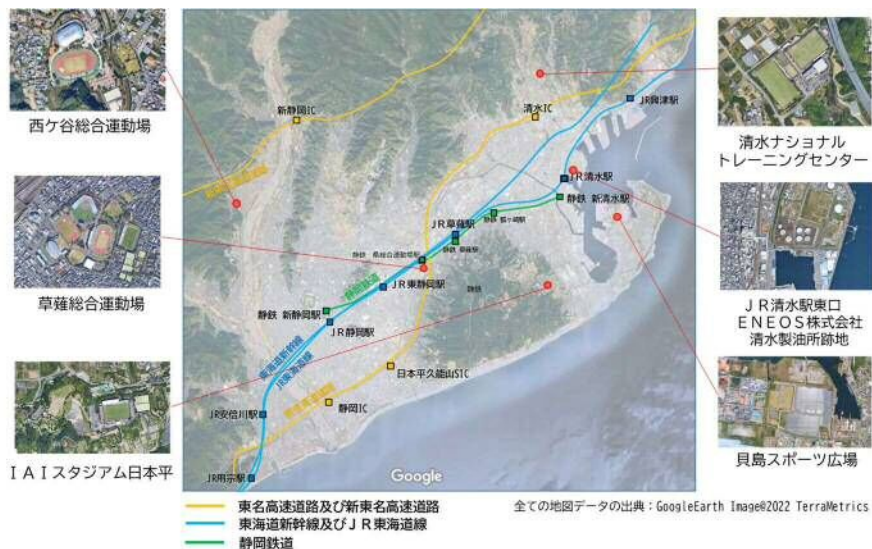
1 土地の抽出

第2回検討委員会で定めた土地の抽出基準に基づき、6か所の土地が抽出されました。

候補地	敷地面積	管理者	土地所有者	土地利用
① 現スタジアムの改修 (現スタジアム敷地)	約16ha (2.3ha)	市	市	市街化調整区域 都市公園
② 草薙総合運動場	約24ha	県	県	第一種中高層住居専用地域 都市公園
③ J R清水駅東口 ENEOS 株式会社清水製油所跡地	約20haの 内の一部	民間	民間	工業専用地域 臨港地区
④ 西ヶ谷総合運動場	約12.3ha	市 (借地)	民間	市街化調整区域
⑤ 貝島スポーツ広場	約6.1ha	市 (借地)	民間	工業専用地域 臨港地区
⑥ 清水ナショナル トレーニングセンター	約4.7ha	市	市	都市計画区域外 (一部市街化調整区域)

※②以降は敷地面積の大きさ順

【抽出された土地の位置図】



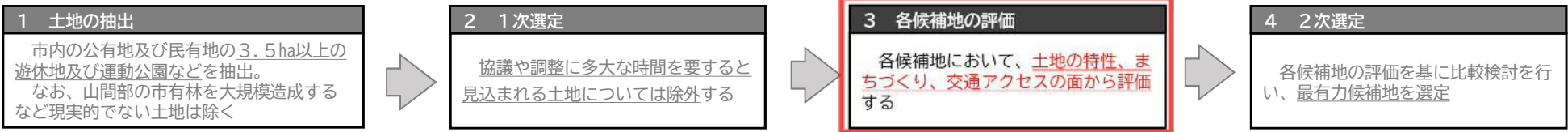
2 1次選定

抽出された土地のうち、② 草薙総合運動場、④ 西ヶ谷総合運動場、⑥ 清水ナショナルトレーニングセンターについては、下記の理由から協議や調整に多大な時間を要すると見込まれる土地であるとし、候補地から除外することとなりました。

土地	敷地面積	管理者	土地所有者	土地利用	理由
① 現スタジアムの改修 (現スタジアム敷地)	約16ha (2.3ha)	市	市	市街化調整区域 (都市公園内)	—
② 草薙総合運動場	約24ha	県	県	第一種中高層住居専用地域 (都市公園内)	<ul style="list-style-type: none"> すでに建ぺい率の上限近くまでスポーツ施設が整備されていることから、既存施設の改修や新たな土地取得が必要となる。 サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。
③ J R清水駅東口 ENEOS株式会社清水製油所跡地	約20haの内 の一部	民間	民間	工業専用地域 臨港地区	—
④ 西ヶ谷総合運動場	約12.3ha	市 (借地)	民間	市街化調整区域	<ul style="list-style-type: none"> サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。
⑤ 貝島スポーツ広場	約6.1ha	市 (借地)	民間	工業専用地域 臨港地区	—
⑥ 清水ナショナルトレーニングセンター	約4.7ha	市	市	都市計画区域外 (一部市街化調整区域)	<ul style="list-style-type: none"> 現トレーニングセンターなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

候補地の選定のフロー



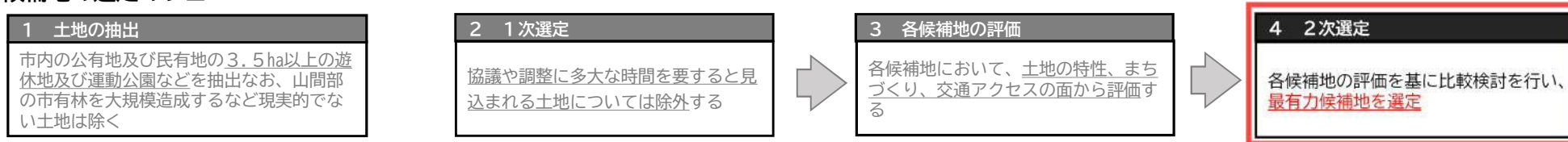
3 各候補地の評価

抽出された3つの候補地について、3つの視点・11の項目で評価し、留意点についても整理しました。

区分	現スタジアムの改修 (IAIスタジアム日本平)	J R清水駅東口 ENEOS株式会社 清水製油所跡地	貝島スポーツ広場
面積	約16ha (現スタジアム敷地2.3ha)	約20haの内の一部	約6.1ha
1 土地の特性			
① 保有状況	静岡市	民有地 (現況：未利用タンクが立地)	民有地 (現況：野球グラウンド)
② 土地の形状	既存のスタジアムを活用するため、南北方向への建設は困難	南北方向に建設可能	南北方向に建設可能
③ 関係法令	市街化調整区域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 都市公園内、第1種風致地区 日影規制	工業専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 臨港地区、ガス事業法、石油コンビナート等災害防止法 土壌汚染対策法	工業専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 臨港地区
④ 都市計画	都市マスタープラン：自然調和ゾーン 立地適正化計画：区域外	都市マスタープラン：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとりある市街地形成区域	都市マスタープラン：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとりある市街地形成区域
⑤ 災害リスク	土砂災害：なし (敷地の一部が土砂災害警戒区域) 津波：なし 液状化：- (不明) その他：なし	土砂災害：なし 津波：津波浸水深2~3m 液状化：液状化可能性大 その他：なし	土砂災害：なし 津波：津波浸水深2~3m 液状化：- (不明) その他：なし
2 まちづくり			
① 周辺の活性化	最寄りの商店街まで 次郎長通り商店街 3.3km 最寄りの大型商業施設まで バイドリーム清水 2.1km	最寄りの商店街まで 清水駅前銀座商店街など 0.3km 最寄りの大型商業施設まで エスパルスドリームプラザ 1.5km 清水河岸の市 0.2km	最寄りの商店街まで 次郎長通り商店街 6.2km 最寄りの大型商業施設まで バイドリーム清水 4.0km
② 周辺開発の可能性	スタジアムは都市公園内に立地 周辺は山林と住宅地	敷地はスタジアム以上の面積であることから、開発可能性はあると考えられる。中心市街地への好影響が期待される。	立地を考慮すると敷地内、敷地周辺への駐車場の設置が必要である。周辺の開発の可能性については、地権者等の意向を確認していないため、現時点では判断できない。
③ 周辺環境への影響	最寄りの住宅地までスタジアムから 150m 留意すべき施設までスタジアムから 静岡市立清水病院 700m	最寄りの住宅地まで 800m 留意すべき施設まで敷地境界から (仮称) 清水さくら病院 100m 港湾関連施設及び企業が周辺に立地	最寄りの住宅地まで敷地境界から750m 周辺には工場棟が立地しており、近隣に病院や学校などの施設はない。
3 交通アクセス			
① 公共交通でのアクセス	バス：J R清水駅から 27分 (バス停から徒歩10分含む) 【20分圏域人口】 タクシー：J R清水駅から 13分 タクシー20分圏内：155,840人 徒歩：J R清水駅から 71分 徒歩20分圏内：3,507人	バス：J R清水駅から 一分 【20分圏域人口】 タクシー：J R清水駅から 一分 電車及び徒歩20分圏：133,012人 徒歩：J R清水駅から 3分 タクシー 20分圏：231,093人 徒歩20分圏：15,537人	バス：J R清水駅から 39分 (バス停から徒歩 14分含む) 【20分圏域人口】 タクシー：J R清水駅から 18分 タクシー20分圏内：51,800人 徒歩：J R清水駅から 96分 徒歩20分圏内：6,683人 (日の出から水上バス利用約50分)
② 自家用車でのアクセス	国道1号長崎IC 6.9km、18分 県道407号(南幹線)から 4.0km、10分 国道150号から 2.0km、5分 東名高速道路 清水ICから 7.7km、20分	国道1号(庵原交差点)から 3.2km、7分 国道149号から 0.7km、2分 東名高速道路 清水ICから 3.5km、8分 ※幹線道路に近いものの、J R東海線により東西交通に課題あり	国道1号庵原交差点から 11.0km、25分 県道407号(南幹線)から 7.2km、18分 国道150号から 3.0km、9分 東名高速道路 清水ICから 11.3km、26分
③ 周辺道路	東側：- 西側：市道幅員約7mに接道 南側：市道幅員約5mに接道 北側：市道幅員約12mに接道	東側：- 西側：臨港道路約30.5mに隣接 南側：臨港道路約17.0mに隣接 北側：-	東側：- 西側：- 南側：市道幅員約10mに接道 北側：-
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地であるため整備が可能。 ・現スタジアムに全面屋根を設置するためには造成が必要となる可能性がある。 ・周辺は住宅地であるため、周辺の活性化や開発可能性は限定的である。 ・駅や幹線道路から距離があるなど、公共交通や自家用車でのアクセスに課題がある。 ・改修中のJリーグ等の試合の代替地について検討が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地であり、使用にあたっては協議が必要である。 ・使用していないタンクの撤去が必要である。また、製油所跡地であるため土壌汚染の調査が必要である。 ・「次世代型エネルギープラットフォーム」の開発コンセプトに沿った開発計画の検討が必要となる。 ・L N G基地との保安距離を確保する必要がある。 ・臨港地区・工業専用地域であるため、スタジアム整備には都市計画制度の活用や変更が必要となる。 ・津波や液状化の対応に費用を要する可能性がある。 ・公共交通でのアクセスが良いが、試合終了時の混雑等への対応に費用が必要となる。 ・スタジアム以上の敷地面積があるため、開発可能性はあると考えられる。 ・清水中心市街地や商業施設にも近接しているため、周辺のまちの活性化が期待できる。 ・近隣病院等のへ対応、対策を検討する必要がある。 ・隣接する港湾道路への負荷の軽減を図る必要があり、対応に費用を要する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地であり、使用にあたっては協議が必要である。 ・臨港地区・工業専用地域であるため、スタジアム整備には都市計画制度の活用や変更が必要となる。 ・津波浸水想定区域であり、対策に費用を要する。また、工業利用されていた土地であるため土壌汚染の調査が必要である。 ・商店街や大型商業施設からは距離があり、周辺は工場用地であることから、周辺活性化への寄与は低い。 ・敷地内は駐車場としての活用が想定されるため開発の可能性は低い。 ・また、周辺は工場が立地しており、開発の可能性は低い。 ・駅から離れていることや半島の地形上の特性から、公共交通、自家用車ともにアクセスに課題がある。 ・清水港湾計画で臨港道路が計画されているため調整が必要になる。

「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」での検討について（概要版）

候補地の選定のフロー



4 2次選定

「3 各候補地の評価」やアンケート調査結果を踏まえ、下記のとおり、検討委員会としての結論が整理されました。

【第3回検討委員会での候補地に関する委員の主な意見】

分類	発言
現スタジアムの改修 (IAIスタジアム日本平)	・ I A I スタジアムに愛着を持っているファンも多いが、改修して屋根をつけてもアクセス面の課題は解決されない。
J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社清水製油所跡地	・ スタジアムを中心に考えがちであるが、まちづくりの視点も重要である。J R 清水駅周辺についてはガイドプランがあるのでまちの将来像は既に出来ている。(清水みなとまちづくりランドデザイン：清水駅東口・江尻口ガイドプラン)
貝島スポーツ広場	・ 工業専用地域であることや、周辺人口を踏まえるとまちづくりの効果は発揮しにくい。 ・ 交通アクセスの観点からも、候補地から外しても良い。 ・ 過去に工業で利用していた履歴があるため、土壌汚染の可能性もある。 ・ 三保（貝島）のアクセス向上のため橋を架けるという方法もある。 ・ 世界遺産のバッファゾーンであることなど、課題は多く橋を架けることは現実的ではない。 ・ スタジアムへのアクセスは複数の交通手段があることが望ましいが、この場所は難しい。
その他 (防災・比較検討全般など)	・ 災害リスクへの対応はコストに影響するのでそれが明らかになっていない状況で候補地を絞り込むのは難しい。また、スタジアムを防災拠点とする考え方もあるが、求められる基準が上がるためコストが増加する要因になる。 ・ 今年度コストの詳細を調査することは難しいので、来年度にコスト等の詳細な調査をする前提で議論を進めるべき。 ・ 様々な対策やインフラ整備以外に、騒音や渋滞といった社会的コストも考えなれいけない。また、整備する場合には近隣の住民などにも説明する必要がある。 ・ 来年度の調査ではコスト面だけではなく、収益にもつながるような経済的な効果も考えていく必要がある。

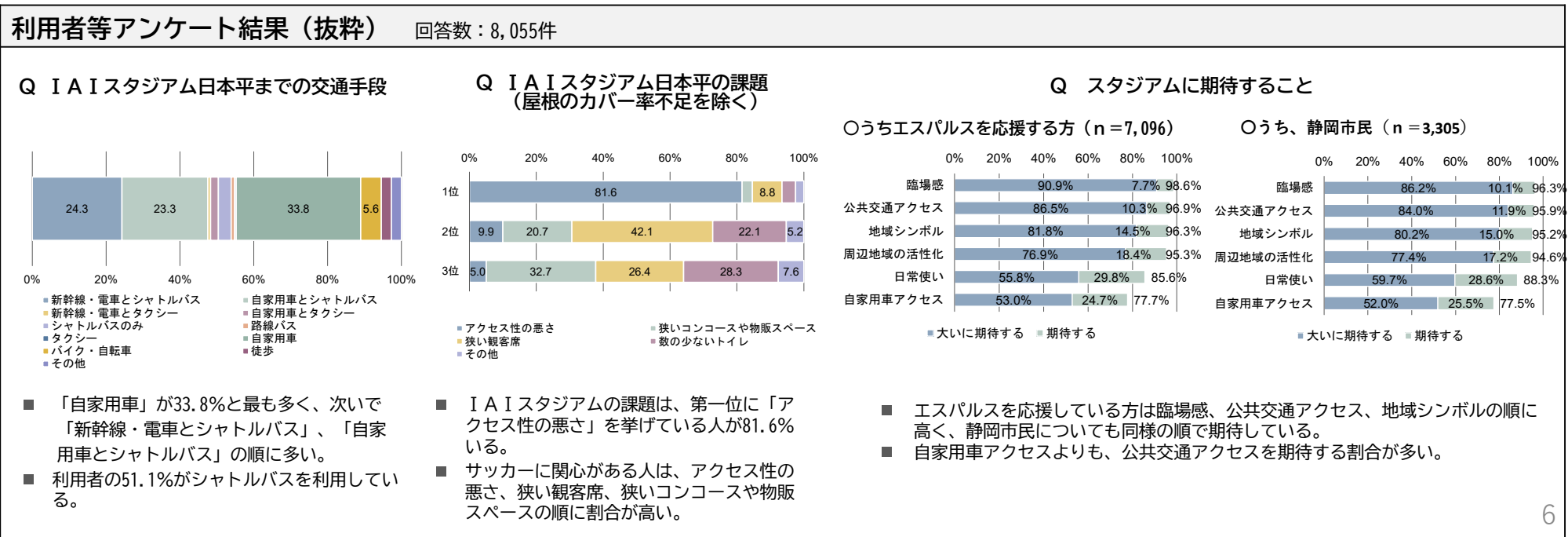
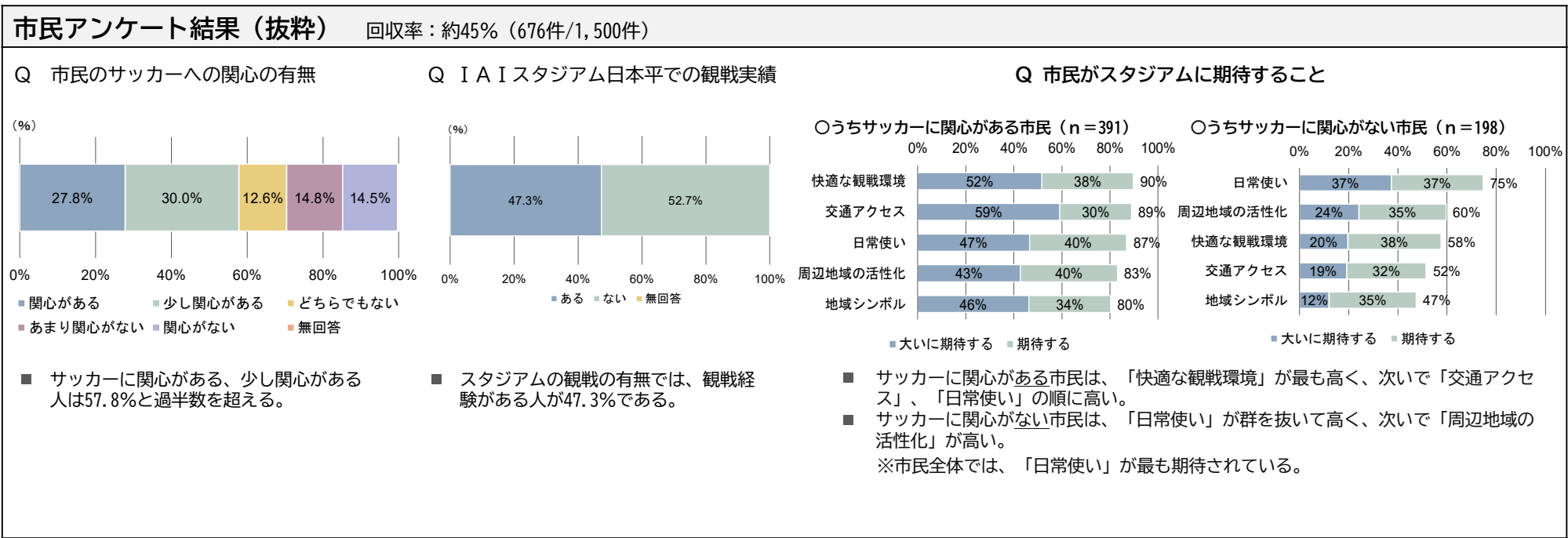
【検討委員会における候補地の比較・評価（第3回検討委員会の各候補地の総括）】

- ・ 「現 I A I スタジアム日本平の改修」については、屋根などの改修を行うことによって、J リーグスタジアム基準を満たすことはできるが、まちづくりやアクセス面に課題が存在する。
- ・ 「J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社清水製油所跡地」については、まちづくりやアクセス面で評価はできるが、一方で、津波、液状化、土壌汚染への対応、騒音、渋滞への対策、地権者との調整などの課題が存在する。
- ・ 「貝島スポーツ広場」については、まちづくりやアクセス面などに課題が存在することに加え、津波、土壌汚染への対応、騒音、渋滞への対策、地権者との調整などの課題が存在する。

第4回検討委員会における結論

- ・ 「J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社清水製油所跡地」
まちづくりやアクセス面で優れていることから、最有力候補地にふさわしいものの、津波や液状化対策などの多数の課題が存在するため、これらの解決にあたって、どのような対応が必要か、どの程度のコストを要するのか、などを検証する必要がある。
- ・ 「現スタジアムの改修（I A I スタジアム日本平）」
J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社清水製油所跡地の津波や液状化対策などの課題を解決することが難しい場合の対応として、どの程度のコストを要するのか、あわせて検証を行う必要がある。
- ・ 「貝島スポーツ広場」
まちづくりやアクセス面などの課題に加え、津波、土壌汚染への対応など、多くの課題が存在するため候補地から除外する。

参考資料：市民アンケート、利用者等アンケート結果（概要）



参考資料：他のスタジアム整備事例

参考資料②

名称		パナソニックスタジアム吹田 (参照：スポーツ庁HP、ガンバ大阪HP、パナソニックスタジアム吹田HP)									ミクニワールドスタジアム北九州 (参照：日経B P H P、北九州市HP、ミクニワールドスタジアム北九州HP、(一社)PC建協HP)												
所在地	大阪府吹田市										福岡県北九州市												
地権者	大阪府（府立公園内）										民間（市が借地権設定）												
アクセス	鉄道駅から徒歩20分										新幹線駅から徒歩7分												
竣工	2015年9月										2017年1月												
収容人数	40,000人										15,300人												
整備手法	任意団体（スタジアム建設募金団体）を設立して募金を募り建設主体となる。建設後に、スタジアムを吹田市に寄付。									PFI（BT0方式）（事業者が設計・建設し、市に所有権移転後、維持管理・運営を15年間）													
建設主体	任意団体									PFI業務受託者（SPC代表企業：㈱九電工）													
建設費	約141億円（法人寄付約99.5億円、個人寄付約6.2億円、toto助成金30億円、国庫補助約5.1億円）									約99.9億円（市債68.3億円、一般財源約0.2億円、国庫補助金等約1.4億円、toto助成金30億円）													
所有者	吹田市									北九州市													
運営	指定管理（ガンバ大阪）									PFI（美津濃㈱、㈱日本施設協会）													
整備スケジュール	2008年度（1年目）	2009年度（2年目）	2010年度（3年目）	2011年度（4年目）	2012年度（5年目）	2013年度（6年目）	2014年度（7年目）	2015年度（8年目）	—	—	2008年度（1年目）	2011年度（2年目）	2010年度（3年目）	2011年度（4年目）	2012年度（5年目）	2013年度（6年目）	2014年度（7年目）	2015年度（8年目）	2016年度（9年目）	—			
	●スタジアム構想発表	●建設募金団体設立	●設計事業者決定	●候補地決定	●募金開始	●建設工事着工	●募金終了	●供用開始竣工	—	—	●総合計画に球場を位置づける	●新球技場基本計画策定・候補地決定	—	●基本方針策定	●事業計画策定	●PFI事業者決定	●設計着手	●工事着手	●供用開始	—			
名称	サンガスタジアム by KYOCERA (参照：京都サンガF C H P、日経B P H P、日本建築学科HP、京都府HP、京都府HP)									中央公園サッカースタジアム（仮称） (参照：広島県HP、広島市HP)													
所在地	京都府亀岡市									広島県広島市													
地権者	府、市（区画整理事業地を購入）									広島市（中央公園広場）													
アクセス	鉄道駅から徒歩3分									鉄道駅から徒歩10分													
竣工	2020年1月									2023年度開業予定													
収容人数	21,600人									28,520人													
整備手法	従来方式									DB方式（設計・工事を一括発注）を基本とする													
建設主体	京都府									広島市													
建設費	約154億円（府債約112億円、一般財源約4.9億円、府基金約5.6億円、toto助成金30億円、寄附約2.1億円）									約271億円（県・市約100.4億円、利用料収入を充当する市債約27.1億円、国庫補助金約80.1億円、寄附金約63億円、民間資金約0.3億円）													
所有者	京都府									広島市													
運営	指定管理（合同会社ビバ&サンガ）									指定管理者制度を採用することを基本とする													
整備スケジュール	2011年度（1年目）	2012年度（2年目）	2013年度（3年目）	2014年度（4年目）	2015年度（5年目）	2016年度（6年目）	2017年度（7年目）	2018年度（8年目）	2019年度（9年目）	—	2013年度（1年目）	2014年度（2年目）	2015年度（3年目）	2016年度（4年目）	2017年度（5年目）	2018年度（6年目）	2019年度（7年目）	2020年度（8年目）	2021年度（9年目）	2022年度（10年目）	2023年度（11年目）		
	●京都府が用地の無償提供を募る	●候補地が亀岡市に決定	●アユモドキに与える影響調査	●基本設計	—	●アユモドキへの影響から候補地を変更	●実施設計	●工事着工	—	●供用開始	—	●検討会議発足	—	●候補地を2案選定 実現可能性調査の実施	●候補地を追加 （中央公園）	—	●県市商工会議所サンフレッチェにて候補地手法等を合意	●基本方針を策定	●基本計画を策定	●基本設計	●実施設計・準備工事	●着工	●募金開始

※この資料はインターネットで情報収集したものであり、実際の運用と異なる場合がある。

参考資料：国内のスタジアム事例の整備・管理運営スキーム

参考資料③

スタジアム事例の整備・管理運営スキームの一覧

大

民間事業者の関り

小

	(野球) ES CON FIELD HOKKAIDO	(サッカー) 今治里山スタジアム	(サッカー) Panasonic Stadium Suita	(野球) MAZDA Zoom-Zoom Stadium	(サッカー) サンガスタジアム by KYOCERA 埼玉スタジアム2002	(サッカー) ミクニワールドスタジアム 北九州
概要	・民間事業者が整備、所有、管理運営	・民間事業者が整備、所有、管理運営 ・自治体が整備費の一部を補助（財源はふるさと納税）	・民間事業者が整備し、自治体に寄付。（自治体が所有） ・管理運営については独立採算で指定管理	・自治体が整備、所有。（整備費は利用者である球団が施設利用料として納付） ・管理運営は独立採算で指定管理	・自治体が整備、所有。 ・管理運営は利用料金併用制で指定管理	・自治体がPFIによって整備、所有。 ・管理運営はPFI契約を締結している特別目的会社が担う
スキーム図						
整備資金調達	・事業者が調達	・個人・企業の寄付やふるさと納税と事業者の調達の混合	・事業者が個人・企業による寄付によって調達	・広島市が整備（地方債を起債）したが、起債償還原資は事業者からの納付金で充当	・京都府、埼玉県が整備	・市が地方債を起債
運営及び改修、修繕などの状況	・運営は事業者の独立採算 ・改修、修繕については、事業者が実施	・運営は事業者の独立採算 ・改修、修繕については、事業者が長期修繕積立金を市に納付し市が基金化 （支払いスキームは検討中）	・運営は事業者の独立採算 ・改修、修繕については、事業者が長期修繕積立金を市に納付し市が基金化	・運営は事業者の独立採算 ・起債償還原資は事業者からの納付金等で充当	・施設整備費は市が負担 ・運営費を府（県）が負担	・施設整備費用はPFI事業者に建後支払 ・運営費は市がPFI事業に支払
底地権利	・事業者が北広島市の都市公園を無償で設置許可を受ける	・今治市の敷地を無償で事業者に貸付	・吹田市の都市公園の公園施設として整備	・広島市有地に行政財産（公の施設）として整備	・亀岡市が京都府に無償貸与（埼玉県が所有）	・民有地を借地
スタジアム所有	・事業者が所有	・事業者が所有	・吹田市が所有	・広島市が所有	・京都府埼玉県が所有	・北九州市が所有
スタジアム整備	・事業者が整備	・事業者が整備	・任意組合が整備し、市に整備後負担付寄付	・広島市が整備したが、設計には広島カーブが関与	・京都府埼玉県が整備	・PFI事業者が設計・施工
スタジアム運営	・事業者が運営	・事業者が運営	・事業者が指定管理の指定を受け運営（独立採算）	・事業者が指定管理や各種協定を締結し運営（独立採算）	・京都サンガ、浦和レッズが指定管理者の指定を受け運営（混合型）	・PFI事業者が運営（ただし、利用料金制は導入されていない）

パブリックコメント実施報告

サッカースタジアムに関するパブリックコメント概要

1. パブリックコメント実施概要

- 実施期間 令和4年12月6日(火)から令和5年1月5日(木)まで
- 周知方法 企画課窓口・各区役所市政情報コーナー、各生涯学習センター、生涯学習交流館、図書館への配架
静岡市ホームページへの掲載、報道機関への情報提供
- 提出方法 電子申請、郵送、FAX、持参
- 意見提出者数 916人

2. パブリックコメント設問内容

設 問

設問1 新サッカースタジアム整備の検討に関心がありますが。また、その理由は何ですか。(1つ○をつけてください)

【関心】 ① 関心がある ② 少し関心がある ③ どちらでもない ④ あまり関心がない ⑤ 関心がない

【理由】 ①サッカーに関心があるから ②清水エスパルスを応援しているから ③まちづくりに関心があるから
④サッカーに関心がないから ⑤その他

設問2 「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」において、基準に基づき抽出された6か所の土地を比較検討し選定された、2つの候補地(JR清水駅東口ENEOS株式会社製油所跡地、現IAIスタジアム日本平の改修)についてお伺いします。

(1) 「JR清水駅東口ENEOS株式会社製油所跡地」での整備についてどう思いますか。
(まちづくりや交通アクセス面で優れている。一方で、津波や液状化、土壌汚染の可能性、渋滞騒音対策等の課題がある。)

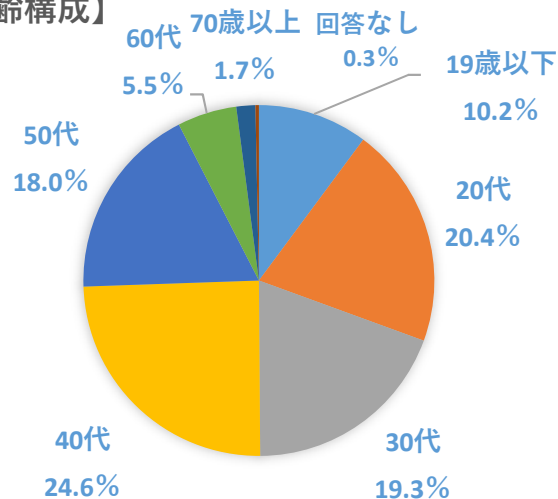
(2) 「現IAIスタジアム日本平の改修」についてどう思いますか。
(JR清水駅東口ENEOS株式会社製油所跡地で整備するための課題を解決することが難しい場合の選択肢)

設問3 その他(自由記載) ※他の候補地や財源、事業主体等に関するご意見はこちらに記載してください。

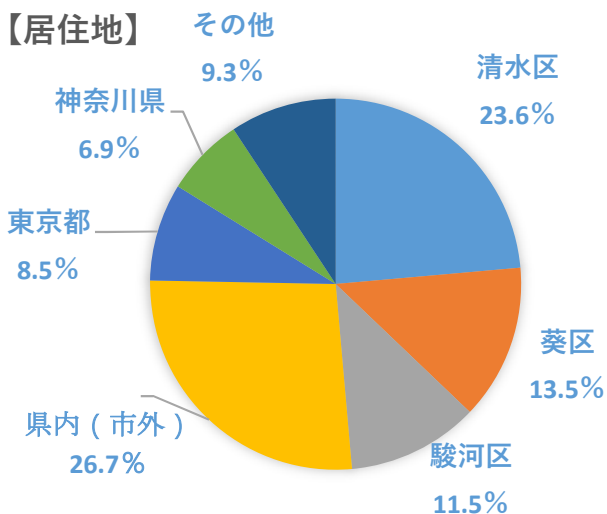
3. パブリックコメント実施結果（属性）

- 年齢構成をみると、40代が最も多く225人・24.6%、20代が187人・20.4%であった。
- 意見提出人数は、916人で、静岡市内の回答が最も多く445人で、内訳は、清水区：216人、葵区：124人、駿河区：105人であった。県内(静岡市以外)は245人で、東京都：78人、神奈川県：63人、その他：85人であった。
- 職業構成は、会社員が最も多く549人・59.9%、学生が132人・14.4%であった。

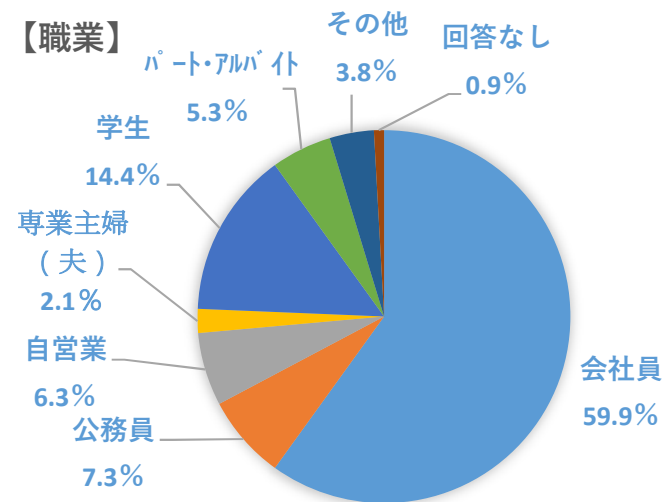
【年齢構成】



【居住地】



【職業】



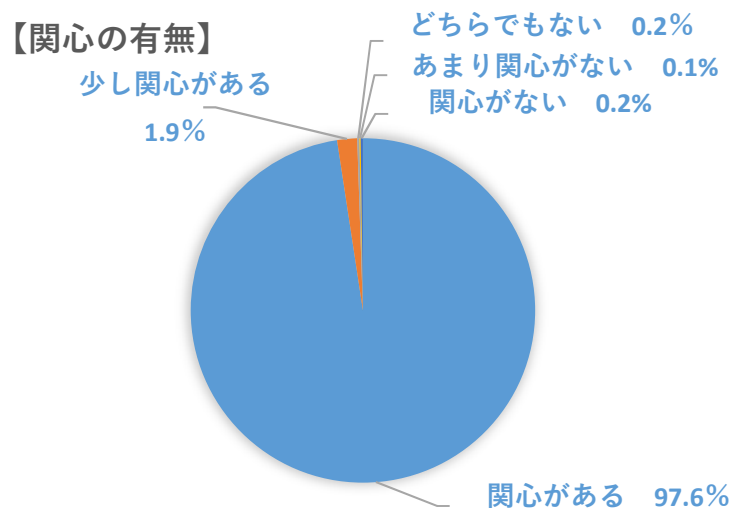
年齢 (人)		
19歳以下	93	10.2%
20代	187	20.4%
30代	177	19.3%
40代	225	24.6%
50代	165	18.0%
60代	50	5.5%
70歳以上	16	1.7%
未回答	3	0.3%
合計	916	-

居住地 (人)			
市内	清水区	216	23.6%
	葵区	124	13.5%
	駿河区	105	11.5%
	県内(市外)	245	26.7%
東京都	78	8.5%	
神奈川県	63	6.9%	
その他	85	9.3%	
合計	916	-	

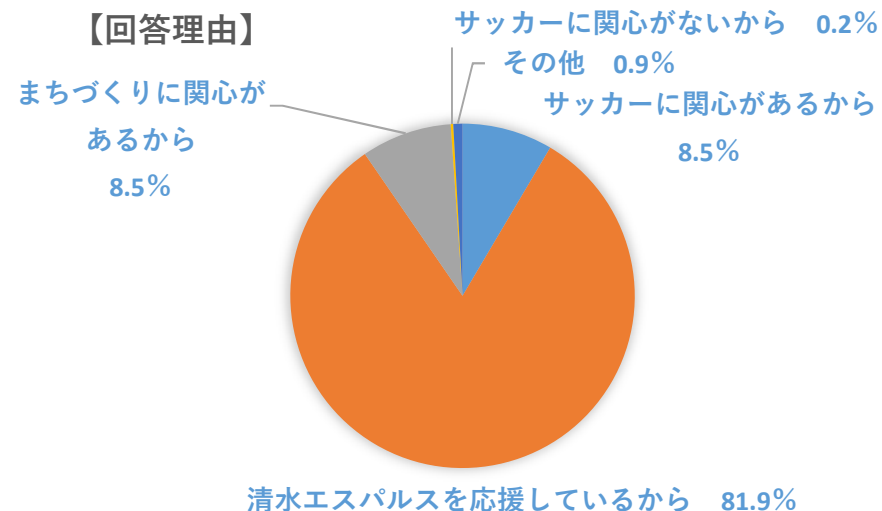
職業 (人)		
会社員	549	59.9%
公務員	67	7.3%
自営業	58	6.3%
専業主婦(夫)	19	2.1%
学生	132	14.4%
パート・アルバイト	48	5.3%
その他	35	3.8%
未回答	8	0.9%
合計	916	-

4. 設問1 新サッカースタジアム整備の検討に関心がありますか。また、その理由は何ですか。 (1つ〇をつけてください)

○スタジアム整備検討への関心があるとの回答が99.5%、清水エスパルスを応援しているとの回答が81.9%と、エスパルスファンの回答が多かった。



サッカースタジアムの整備検討への関心 (人)		
関心がある	894	97.6%
少し関心がある	17	1.9%
どちらでもない	2	0.2%
あまり関心がない	1	0.1%
関心がない	2	0.2%
計	916	—



パブリックコメント回答理由 (人)		
清水エスパルスを応援しているから	750	81.9%
サッカーに興味があるから	78	8.5%
まちづくりに関心があるから	78	8.5%
サッカーに興味がないから	2	0.2%
その他	8	0.9%
計	916	—

5. 設問2 「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」において、基準に基づき抽出された6か所の土地を比較検討し選定された、2つの候補地(JR清水駅東口ENEOS株式会社製油所跡地、現IAIスタジアム日本平の改修)についてお伺いします。

(1) 「JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」での整備についてどう思いますか。
(まちづくりや交通アクセスで優れている。一方で、津波や液状化、土壤汚染の可能性、渋滞騒音対策等の課題がある。)

意見数：1,557件

分類		主な意見	件数	回答	
土地の特性	土壤汚染・災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> 地震の災害時に避難ができるかどうかといった不安がある。 津波や液状化は費用でクリアできる問題なのか専門家の意見をききたい。 地盤の強度や土壤汚染については今後調査し、必要な対策をして欲しい。 	81件	<ul style="list-style-type: none"> 土壤汚染や災害リスクは課題として認識しています。 今後、対策や対策に要する経費などを検討していきます。 具体的な内容については、今後の検討の参考とします。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 災害時には避難場所や応急活動の拠点防災の面からも期待できるのではないか。 津波や液状化対策をおこない、防潮堤のような役割を担ってくれれば良い。 台風の災害時には駅に近くアクセスしやすい物資の供給拠点にできる。 	199件		
まちづくり	周辺の活性化・周辺開発の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 清水駅前なら移動時間が減るため、周辺での地元グルメや観光も計画もしやすくなる。 海外を含めた他のスタジアムでは、商業施設やホテル、高齢者施設等もあるので、施設の併設を検討して欲しい。 大規模商業施設を誘致できれば、まちの魅力が増すのではないか。 	338件	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の活性化や周辺開発の可能性が期待できることは認識しています。 今後、回遊性を高める取組や活性化方策などを検討していきます。 具体的な内容については、今後の検討の参考とします。 	
		<ul style="list-style-type: none"> バスやタクシーも必要なくなり、歩いてスタジアムに行く人も多くいるので、むしろ人が回遊するエリアが狭くなってしまわないか。 	6件		
まちづくり	周辺環境への影響	騒音	<ul style="list-style-type: none"> 日本平と比較すると住宅も近接していないので良いのではないか。 住宅地などにある他都市のスタジアムの対策を参考にして欲しい。 駅周辺で病院(整備予定)も近いので騒音が心配である。 	42件	<ul style="list-style-type: none"> スタジアムの整備による、騒音や渋滞などは課題として認識しています。 今後、対策や対策に要する経費などを検討していきます。 具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
		渋滞	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用しやすくなり、自家用車やシャトルバスが減少するため、IAIスタジアムよりも渋滞は減るのではないか。 駐車場を少し遠隔地に設けることで近隣の混雑は改善できるのではないか。 周辺に観光施設や病院(整備予定)等もあり、混雑することが予想される。 路上駐車や緊急車両、路線バスへの影響も考えておく必要がある。 	69件	

分類		主な意見		回答
交通アクセス	公共交通 ・ 自家用車	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関(J R、静岡鉄道、静鉄バス)も利用しやすく、利用者も増える。 ・アクセスが良いので、アウェーの観客の来場や滞在も増える。 ・交通アクセスを理由に来場を断念した高齢者や子供連れを呼び込める。 ・周辺にある大規模な駐車場からも徒歩圏内でのよい。 ・駐車場を整備出来る広さがある。駅利用者も利用できる大規模駐車場があれば良い。 	540件	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近接していることから、公共交通によるアクセスは良いと認識しています。 ・自動車、歩行者などの交通対策については、今後検討していきます。 ・具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
	周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・J R清水駅に近いが、試合終了後に駅が対応できるのか心配。 ・J Rだけではなく、静鉄の利用促進や、空港からのシャトルバス運行等も検討が必要。 ・出入口が沢山あるような駐車場が必要ではないか。 ・イベントや試合終了後の周辺道路の混雑が心配。 ・駅前の道路の整備は必要ではないか。 	66件	
その他	観戦者増加	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスしやすいことで県外のエスパルスファンやアウェーのファンの来場が増える。 ・高齢になった家族も観戦しやすくなる。 	139件	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通によるアクセスが良くなることで、観戦者増につながる効果もあると考えています。
	シンボル	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーどころの象徴となるようなスタジアムを作って欲しい。 	31件	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討の参考とします。
	その他：エネプラ事業や費用負担、景観、スケジュールに関する事など		<ul style="list-style-type: none"> ・ENEOS(株)と連携し、クリーンエネルギーを利用したスタジアムにしてはどうか。 ・津波対策や土壌汚染対策にも費用のかさむだろうし、整備費用を誰が負担するのか。 	46件

【意見の総括】

- ・「J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」を最有力候補地とすることについて、まちづくりの観点や交通アクセスの面などから期待する意見が多い。一方で、駅に近接することによる混雑等を心配する意見もある。
- ・津波浸水想定区域に位置していることから、津波や液状化などの災害リスクを懸念する意見がある。
- ・スタジアム本体の防災機能を高め、防災拠点としての活用を望む意見がある。
- ・観戦者が増加する期待や、ENEOS株式会社が取り組むエネルギー事業との相乗効果が期待できるのではないかと意見がある。

(2) 「現 I A I スタジアム日本平での改修」についてどう思いますか。

(J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社清水製油所跡地で整備することが難しい場合の選択肢)

意見数：1,131件

分類		主な意見		件数	回答
土地の特性	土壌汚染・災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・災害面では津波の心配が低く、土砂災害対策のみであるため良い。 ・災害のリスクが低く、安全性の点で良い。 		2件	<ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクについては、改修にあたっての検討の参考にします。
		<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の台風被害の影響を考えると土砂崩れがないか心配。 ・コンコースが狭いため、観客の多い試合で災害が発生すると大きな事故が懸念される。 		2件	
まちづくり	周辺の活性化 ・ 周辺開発の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが悪く観客に時間的な余裕が無いため、周辺の活性化への効果が得られない。 ・アウェーサポーターの集客や回遊性を考えると相応しくない。 		49件	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺が住宅地で大型の商業施設からも離れていることから、周辺への活性化等の可能性が低いという点については、今後の検討の参考にします。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ I A I スタジアム日本平であれば、多くの人移動するため清水のまち全体の活性化になるのではないか。 		1件	
周辺環境への影響	騒音	<ul style="list-style-type: none"> ・改修することで騒音などの課題を解決するのは難しいのでは無いか。 		81件	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に近接し公共交通手段も限られていることから、騒音や渋滞などの課題があると認識しています。 ・現在は、試合開始時に周辺道路への一般車両乗り入れ禁止や、午後9時以降の鳴り物を禁止するなどの対応をしています。
	渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・試合終了後は地元の車とスタジアムからの車で周辺道路が混雑する。 ・試合後のバスや車の大渋滞、違法駐車・停車などの問題がある。 			
交通アクセス	公共交通 ・ 自家用車 ・ 周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関はバスのみであり、シャトルバスは試合終了後に混雑する。 ・アウェーのサポーターはアクセスが悪く敬遠するとの話も聞く。 ・駐車場が不足しており、民間駐車場を探すのにも苦労している。 ・坂の上にあり、駅からも遠いことからお年寄りには非常に行くことが大変。 ・改修するのであれば、周辺道路や駐車場、シャトルバス乗り場などのアクセス面の改善をして欲しい。 		695件	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足や試合終了後のシャトルバス乗り場の混雑、スタジアムへの坂道など、交通アクセスに課題があると認識しています。 ・具体的な内容については、今後の検討の参考とさせていただきます。

分類	主な意見	件数	回答	
その他	施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根が無いため、雨天時の観戦がしにくい。 ・トイレが少ない。おむつ交換台や授乳室などの赤ちゃん関連施設が少なく不便。 ・椅子が老朽化している。座席が狭い。背もたれが無い。 ・階段が多くバリアフリーではない。 	120件	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化などについては、課題があると認識しています。
	愛着・臨場感等	<ul style="list-style-type: none"> ・IAIスタジアムはエスパルスの聖地として愛着もある。 ・芝もキレイで、富士山も見えるのは素晴らしい。 ・スタジアム自体は、見やすいし雰囲気も良いし言うことない。 	88件	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討の参考とします。
	代替地	<ul style="list-style-type: none"> ・改修が完了するまでの間、試合を開催できるスタジアムがないのではないかと。 	23件	<ul style="list-style-type: none"> ・改修中の代替地については、課題であると認識しています。
	建替え	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化や狭いコンコースや少ないトイレなどの課題があるため、日本平を改修するなら建替えた方が良いのではないかと。 	19件	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討の参考とします。
	収容人数	<ul style="list-style-type: none"> ・改修するのであれば収容人数を増やして欲しい。 	22件	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジアムの収容人数などについては、今後の検討とします。
		<ul style="list-style-type: none"> ・改修するのであれば収容人数を減らして席を広げて欲しい。 	1件	
	他の候補地	<ul style="list-style-type: none"> ・IAIスタジアムを改修しても課題は解決されないため、他の場所を再考察して欲しい。 ・草薙総合運動場やJR東静岡駅周辺等は候補地にならないのか。 	18件	<ul style="list-style-type: none"> ・建ぺい率の問題やスタジアムに必要な面積が不足しているなどの理由で検討委員会の議論において除外となりました。
その他：設計や個別設備、スタジアムの今後の利用に関する事など	<ul style="list-style-type: none"> ・他の場所にスタジアムを整備したあとも、IAIスタジアムはサッカーグラウンドとして利活用して欲しい 	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・設計や設備、他の場所に移転した場合の現スタジアムの利用方法などについては、今後の検討の参考とします。 	

【意見の総括】

- ・IAIスタジアム日本平を改修する案については、スタジアムへの愛着や臨場感等を評価する意見がある。
- ・スタジアムを改修しても改善することが難しい交通アクセスを心配する意見が多い。
- ・周辺は住宅地であり商店街等も近隣に無いため、改修しても周辺の活性化や周辺の開発には繋がらないとの意見がある。
- ・試合終了後の渋滞による、周辺住民への影響が解決しないとの意見がある。
- ・改修する場合には屋根以外の座席やトイレなどの観戦環境改善を求める意見がある。

6. 設問3 その他（自由記載）

※他の候補地や財源、事業主体等に関するご意見はこちらに記載してください。

○ JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地での整備に関すること（※設問1と同様の意見内容）

意見数：108件

分類	件数	回答
土壌汚染・災害リスク	5件	・土壌汚染や災害リスクは課題として認識しています。今後、対策や対策に要する経費などを検討していきます。具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
周辺の活性化・周辺開発の可能性	69件	・周辺の活性化や周辺開発の可能性が期待できることは認識しています。今後、回遊性を高める取組や活性化方策などを検討していきます。具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
周辺環境への影響	2件	・スタジアムの整備による、騒音や渋滞などは課題として認識しています。今後、対策や対策に要する経費などを検討していきます。具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
交通アクセス	22件	・駅に近接していることから、公共交通によるアクセスは良いと認識しています。自動車、歩行者などの交通対策については、今後検討していきます。具体的な内容については、今後の検討の参考とします。
その他（スタジアム利用者増加など）	10件	・公共交通によるアクセスが良くなることで、観戦者増につながる効果もあると考えています。

○ 現IAIスタジアム日本平の改修に関すること（※設問2と同様の意見内容）

意見数：75件

分類	件数	回答
周辺の活性化・周辺開発の可能性	3件	・周辺が住宅地で大型の商業施設からも離れていることから、周辺への活性化等の可能性が低いという点については、今後の検討の参考にします。
周辺環境への影響	4件	・住宅地に近接し公共交通手段も限られていることから、騒音や渋滞などの課題があると認識しています。現在は、試合開始時に周辺道路への一般車両乗り入れ禁止や、午後9時以降の鳴り物を禁止するなどの対応をしています。
交通アクセス	48件	・駐車場不足や試合終了後のシャトルバス乗り場の混雑、スタジアムへの坂道など、交通アクセスに課題があると認識しています。具体的な内容については、今後の検討の参考とさせていただきます。
施設設備	13件	・設備の老朽化などについては、課題があると認識しています。
愛着・臨場感等	6件	・今後の検討の参考とします。
その他（スタジアムの建替え）	1件	・交通アクセスが悪いことでスタジアム来場者数に影響していると考えられます。そういった点も踏まえ、検討していきます。

○ 全般に関すること（主な意見）

意見数：340件

分類	主な意見
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R清水駅東口に早急に整備して欲しい。 ・ 整備でも改修でも早期に実施して欲しい。
サッカーのまち・まちのシンボル	<ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー王国清水にふさわしい、まちのシンボルとなるサッカースタジアムを作って欲しい。
複合化・多機能化	<ul style="list-style-type: none"> ・ サッカースタジアム以外の機能を持たせ、常に人が集まる場所になると良い。
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドファンディングや募金活動をしたらどうか。 ・ 募金が始まったら協力したい。
収容人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本代表の試合が出来る収容人数にして欲しい。 ・ 人口減少していくので大きな収容人数でなくて良い。
他の候補地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草薙総合運動場や J R東静岡駅周辺、庵原（トレセン）、蛇塚サッカーグラウンド等はどうか。

7 パブリックコメントの意見まとめ

(1) 【J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地での整備】

- ・「J R清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」を最有力候補地とすることについて、まちづくりの観点や交通アクセスの面などから期待する意見が多い。一方で、駅に近接することによる混雑等を心配する意見もある。
- ・津波浸水想定区域に位置していることから、津波や液状化などの災害リスクを懸念する意見がある。
- ・スタジアム本体の防災機能を高め、防災拠点としての活用を望む意見がある。
- ・観戦者が増加する期待や、ENEOS株式会社が取り組むエネルギー事業との相乗効果が期待できるのではないかとの意見がある。

(2) 【I A Iスタジアム日本平での改修】

- ・I A Iスタジアム日本平を改修する案については、スタジアムへの愛着や臨場感等を評価する意見がある。
- ・スタジアムを改修しても改善することが難しい交通アクセスを心配する意見が多い。
- ・周辺は住宅地であり商店街等も近隣に無いため、改修しても周辺の活性化や周辺の開発には繋がらないとの意見がある。
- ・試合終了後の渋滞による、周辺住民への影響が解決しないとの意見がある。
- ・改修する場合には屋根以外の座席やトイレなどの観戦環境改善を求める意見がある。

(3) 【検討委員会の進め方や他の候補地に関する意見】

- ・他の候補地（草薙総合運動場やJ R東静岡駅周辺など）を希望する意見もある。

最有力候補地の選定について

- ・パブリックコメントにおける2つの候補地に対する評価や課題認識は、検討委員会の認識と概ね同様である。
- ・そのほか、他の候補地を推す意見もあったが、いずれも検討委員会での多面的な検討の結果、選定しなかった土地であり、想定していなかった土地はない。

以上のことから、最有力候補地については、パブリックコメントで(案)として示した下記の2つとする。

最有力候補地の選定

○「JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」

まちづくりやアクセス面で優れていることから、最有力候補地にふさわしいものの、津波や液状化対策などの多数の課題が存在するため、これらの解決にあたって、どのような対応が必要か、どの程度のコストを要するのか、などを検証する必要がある。

○「現スタジアムの改修（IAIスタジアム日本平）」

JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地の津波や液状化対策などの課題を解決することが難しい場合の対応として、どの程度のコストを要するのか、あわせて検証を行う必要がある。